

厚生労働省 働き方改革推進支援助成金 団体支援コース 成果報告書

香取市商工会

1.事業概要

販路拡大等の実現を図るための展示会開催及び出展の事業

香取市の人口は、全国的な少子高齢化の影響を受けて減少傾向である。厚生労働省の「人口動態統計」と「日本の将来人口推計」に基づくと、2024年から2030年にかけて、市内の人口は更に減少し続ける見通しである。

構成事業主には、香取市の産業の中心でもある農業に関連した事業（加工食品製造業等）を営む者も多く、人口減少による雇用環境の悪化（人材不足等）は、地域の経済規模縮小に拍車をかける懸念がある。

働き方改革関連法の施行により、構成事業主は労働時間や賃金水準の適正化等、雇用環境の改善に取り組んでいるが、係る費用は年々増加している。雇用環境を維持する為にも事業の高収益化は必須であり、既存取引先への価格転嫁を進めることはもちろん、新たな販路を獲得する必要がある。

この問題の解決を図るべく、食に関する商談展示会としては国内最大級の開催規模を誇る「スーパーマーケット・トレードショー（略称：SMTS2025）」に出展し、構成事業主の販路獲得を支援する。また、これらの成果を改善事例として香取市商工会ホームページで発信する。

2.スーパーマーケット・トレードショー

スーパーマーケット・トレードショー2025（SMTS2025）は、スーパーマーケットを中心とする食品流通業界の最新情報を発信する商談展示会です。全国の小売業、卸・商社、中食、外食などから多数のバイヤーが集まり、新たな販路やビジネスチャンスを提供する場として開催されました。

第59回目の開催となるSMTS2025は、2025年2月12日（水）から14日（金）まで幕張メッセで行われ、経済産業省、農林水産省、厚生労働省、消費者庁、日本貿易振興機構（ジェトロ）などの後援を受けています。

会期中は、3日間で77,305名（複数日来場8,849名含む）の登録入場者があり、SMTSは出展者数2,237社・団体、3,611小間の規模で開催。日本各地から1,400社以上の地域産品メーカーが出展し、海外からも15か国、103社・団体、140小間が参加しました。

3.出展事業所

事業所名	取扱商品	獲得したい販路
A社	飲食料品卸・干しいも他	大手食品卸、OEMほか
B社	らーめん類、冷凍ぎょうざ	千葉県内だけでなく首都圏（一都三県）の販路
C社	かば焼き、白焼き、弁当	海外も含め、高価格帯の販路

【出展時画像】



4.効果測定結果（アンケート）

＜ブース訪問数＞

A社	B社	C社	合計
230	302	152	684

＜商談件数（名刺交換数）＞

A社	B社	C社	合計
85	109	62	256

＜販路獲得件数（見込含む）＞

A社	B社	C社	合計
21	32	12	65

5.効果測定結果（自由記述欄）

展示会出展について出展者等の意見を聴取したところ、次の意見・評価を得た。

- 大きな展示会に商工会員単独で出展することは費用や時間の制約等を考慮すると大変難しいが、商工会が取りまとめて出展を支援していただける事業は大変有益だった
- 香取市及び近隣市町村以外での取引拡大が期待できる展示会出展は、人口減少による売上低下や雇用環境の悪化による人材不足を補う新たな販路開拓ができた
- 千葉県内だけでなく首都圏（一都三県）に販路を持つ大手食品卸とのパイプが築け、今後の新規販路開拓のきっかけとなった。